

広島市植物公園 見どころ案内

皇帝ヒマワリ (キク科)

ヒマワリとは別属ですが、ヒマワリに似た外観で非常に大きくなることから皇帝ヒマワリと呼ばれます。ニトベギクの別名があります。

秋バラ (バラ科)

四季咲きバラの見頃は終盤です。花色の冴えた綺麗なバラをご覧ください。

オッタチカンギク (キク科)

出雲市の立久恵峠(乙立地区)で見つかった寒菊で、島根県の固有変種です。シマカンギクよりも頭花が小さいのが特徴です。

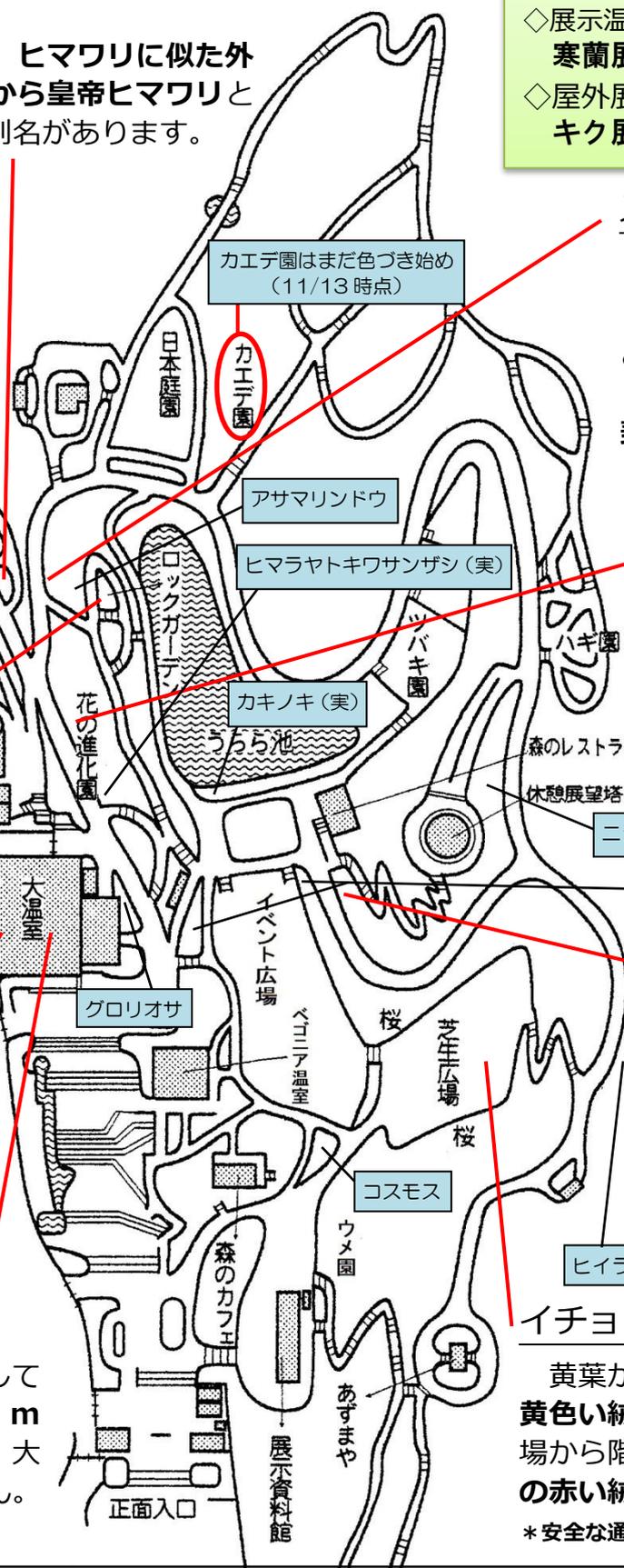
カンキチク (タデ科)

ソロモン諸島原産。平たい葉のように見える部分は実は茎(扁茎)で、シャコバサボテンと同じからだの作りです。

パキラ (アオイ科)

中南米原産。観葉植物としておなじみですが、本来は20m近くまで大きくなる高木で、大きく育てないと開花しません。現在、実がついています。

バナナ、パパイア、ココヤシ等の実



カエデ園はまだ色づき始め(11/13時点)

カエデ園

アサリンドウ

ヒマラヤトキワサンザシ(実)

カキノキ(実)

ニシキギ・トウカエテ(紅葉)

展示会のご案内

- ◇展示資料館 (10/30~11/28)
趣味のポタニカルアート展
- ◇展示温室 (11/10~11/15)
寒蘭展
- ◇屋外展示場 (10/23~11/14)
キク展

スカーレットオーク (ブナ科)

北米東部に分布するどんぐりの木のなかま(コナラ属)です。紅葉が美しいことから、庭木として人気があります。

フウセントウワタ (キョウチクトウ科)

南アフリカ原産。ハリセンボンのように膨らんだ実が特徴的で、ドライフラワーにも向きます。

ニシキギ・トウカエテ(紅葉)

スズランノキ(紅葉)

ガッツアリア (キク科)

コダチダリア(皇帝ダリア)が片親の交配品種。晩秋に開花するコダチダリアと違い、6月頃から開花します。草丈は低ですが、大きな花が咲きます。

ヒイラギモクセイ

イチヨウ (イチヨウ科)

黄葉がピークを過ぎ、樹の周りが黄色い絨毯になっています。芝生広場から階段を上ると、アメリカフウの赤い絨毯も楽しめます。

*安全な通行のため、随時清掃をしています。